

令和6年度PDCAサイクル(2次性骨折予防チーム)

P

計画

今年度の目標

骨粗鬆症治療継続率の把握

令和6年度チーム活動計画

- ①骨粗鬆症治療継続率把握のための体制作り
- ②新たな電子カルテへの移行に合わせて、テンプレートや一覧表などの見直しの実施
- ③骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有

D

実行

①骨粗鬆症治療継続率把握のための体制作り

②新たな電子カルテへの移行に合わせて、一覧表などの見直しの実施

今年度より新たな電子カルテへ移行する予定である。それに伴い、今までExcelで管理していた介入患者が電子カルテ内で管理できる事となる。他職種などの意見も確認しながら一覧表の見直しを実施する。

それと同時に、当院で介入から1年後まで再来日の来院状況や治療継続率も把握できる管理体制作りを行っていく。

③骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有

今年度も整形外科病床がある病棟看護師対象に勉強会を実施する。

1名骨粗鬆症マネージャーの資格取得に向けての学習を実施。骨粗鬆症学会へ参加する。

C

評価

①骨粗鬆症治療継続率把握のための体制作り

②新たな電子カルテへの移行に合わせて、一覧表などの見直しの実施

新たな電子カルテへ移行し、患者カルテと紐付けた一覧表を作成する事となった。介入開始時から当院退院後の再診日まで、介入内容を確認しやすくなった。また、新たに外来看護師がチームに参加する事となり、チームの業務内容などを知ってもらうことができた。

その反面、新たな電子カルテや書式となることで入力漏れなどが増加した。骨粗鬆症マネージャー、整形外科DAを中心に定期的な一覧表の確認を行い、漏れなく入力できる様介入を行った。

また、実際に使用開始することで様式や確認方法など改善点が挙げられ、可能な箇所は修正依頼を行った。

③骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有

今年度はチーム所属の医師・製薬会社合同で、圧迫骨折に対する骨粗鬆症と骨粗鬆症治療薬についての勉強会を実施した。西6病棟と東6病棟より参加者あり、知識の共有を行う事ができた。

今年度は骨粗鬆症学会に医師2名、看護師2名が参加した。また新たに看護師1名が骨粗鬆症マネージャーの資格を取得した。

A

改善

①骨粗鬆症治療継続率把握のための体制作り

②新たな電子カルテへの移行に合わせて、一覧表などの見直しの実施

新たな電子カルテへ移行することで、入力漏れが増加する事となった。来年度以降も骨粗鬆症マネージャーを中心に入力漏れがないかの確認を行い、各職種が入力作業を漏れ無く実施できる様に支援していく。

また、チームのスペースを作成するなど、チーム内での声かけや意見交換が実施しやすいような体制を作っていく。様式などはチームの話し合いの中で各職種から意見を募り、修正が必要な箇所は引き続き修正依頼を行い、介入しやすいよう可能な範囲で変更を行っていく。

③骨粗鬆症リエゾンサービスについての知識の共有

看護師・医師共に新たに整形外科病棟に配属になった職員もいるため、骨粗鬆症マネージャーを中心に引き続き勉強会を実施していく。